

地域づくり活動 NPO 事業助成事業 実績報告

事業区分 ( 1-5 )

団体名	神戸の冬を支える会	代表者名	(職名) (氏名) 理事長 森山 一弘
事業名	生活困窮、困難者への緊急支援とその支援ネットワーク構築事業		

< 事業実施実績 >

年月日 定例は「月1回」 「毎〇曜日」等 で記入	場所	参加者 一般(スタッフ)	活動内容 (勉強会や定例会、講演会、イベントなどを幅広く記入) 講演会、イベント等はタイトル・講師・会場等を併記
2023年4月～ 2024年2月 (随時)	姫路事 務所	202 (220)	緊急的な支援が必要な方の相談を受け、必要な支援の検討、 支援対象者に対する支援計画の策定(スタッフミーティン グ)と必要に応じて関係機関との協議の実施
2023年4月～ 2024年2月 (随時)	姫路事 務所	90 (165)	住居確保等と同時に緊急支援物資(食料、布団等)の提供の 実施
2023年4月～ 2024年2月 (随時)	対象者 自宅等	55 (95)	必要に応じて自宅訪問(見守り、相談のフォローアップ)
2023年4月～ 2024年2月 (随時)	姫路事 務所	294 (335)	訪問・見守り活動の実施、相談活動の実施

< 効果と成果 >

<p>住居を失った方の相談及び支援の依頼が様々な関係機関及び本人から寄せられ、まず生活基盤を整え、その上で生活再建を図る支援を行った。その際、住居を確保してもほとんどの方は家財だけでなく所持金の持ち合わせもない状態であった。そのため、布団や家財、食料品はないのなれば、生活することもできないため、緊急的な支援として布団や食料等の提供の支援を実施した。</p> <p>布団セット提供26人、食糧支援(本助成金利用分)1人、相談人数119人(実人員)</p> <p>緊急的支援を通じて支援対象者が生活再建に向けて再出発するきっかけを提供することができた。</p> <p>緊急的支援を通じて、支援対象者との関係を築くとともに、その方が抱えている問題の解決に向けて必要なアドバイスや支援、関係機関へのつないでいくことも行った。</p> <p>このような支援活動を通じて、関係機関と顔の見える関係が可能となり、地域での生活困窮者支援の体制の構築に向けた環境を整備していくきっかけとなった。</p>
---

< 今後の展望 >

- ・生活上の困難が社会的なものであり、様々な支援を組み合わせる中で社会的に解決していくという視点を持っていくことが重要なので、連携の強化を更に進めていきたい。
- ・このような緊急支援活動を通じて培った地域の支援のネットワークと取り組みの実績を必要な制度の提案や創設につないでいけたらと考えている。

< 収支決算書 >

(収入)

項 目	金 額 (円)
地域づくり活動 NPO 事業助成金	500,000
自己資金	255,885
合計	755,885

(支出)

区分	項 目	金 額 (円)	左のうち 助成対象金額 (円)
直接 経費	人件費	628,224	372,339
	緊急支援物資	114,551	114,551
	交通費	13,110	13,110
	その他 ( 等 )	0	0
	小 計	755,885	500,000
間接経費 (一般管理費)		0	0
合 計		755,885	500,000